

研究機関：広島大学

研究課題名	神経変性疾患における剖検組織を用いた分子病理学的検索
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
研究期間	2016（平成28）年3月(倫理委員会承認後)～ 2024（令和6）年3月
対象者	1974（昭和49）年1月24日から2023（令和5）年12月31日の間に、広島大学病院および共同研究施設で剖検病理解剖を受け、剖検病理診断を受けられた患者さんを対象とします。
意義・目的	アルツハイマー病やパーキンソン病をはじめとした神経変性疾患の原因については、現在、原因のタンパク質が脳に蓄積し、神経細胞が減っていくということが明らかになっていますが、原因タンパク質が脳に蓄積し、脳全体に広がるしくみについてはまだ解明されていません。今回、亡くなった患者さんの脳を顕微鏡で検査することによって、その仕組みを明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、当院で病理解剖をうけられた患者さんの脳組織を使用します。標本より異常部位を抽出し、顕微鏡で観察するほか、異常なタンパク質の分析を行います。 また、診療録（カルテ）情報を転記して行います。カルテから転記する内容は身長、体重、性別、病気にかかっていた期間、画像検査（CT、MRI）、病理診断報告です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	東京都健康長寿医療センター研究所（村山繁雄先生）、徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学（和泉唯信先生）、ビハークの里病院脳神経内科（織田雅也先生）、国立病院機構広島西医療センター脳神経内科（渡邊千種先生）から本学に情報を集め解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学 教授 丸山 博文
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5201 広島大学病院 脳神経内科 非常勤医師 倉重 毅志